

令和7年度 大阪府交野高等学校 第3回学校運営協議会議事録

日時：令和8年2月17日（火）15時00分～16時30分

場所：本校会議室

出席者：吉田巖（委員長）、中田恵理子（副委員長）、白川安考（委員）、森脇正子（委員）
校長、教頭、首席、指導教諭（生徒指導主事）、教務主任

1. 校長挨拶

2. 令和7年度 学校経営計画の評価について（校長）

- ・インスタグラムにて1年の活動内容の振り返り。
- ・第2回授業アンケートは業者からの返信待ち。
- ・英検取得率は結果待ち。
- ・いじめ対応→生徒評価は高い。教員の肯定的自己評価はやや低い。
今後は教員の組織的な対応が課題。
- ・働き方改革→一部の教員に業務が偏っている。平準化をめざす。

- ・目安箱は誰が設置したのか。その結果はどのように回答したのか。（吉田委員長）
→質問内容についての解答を生徒会執行部は担当の部署に回答を聞きに行った。
スマホ緩和などは生徒会執行部と生徒指導部が話し合いをした。（校長）
→質問の取り扱いには真摯に解答し、放置しないとよい。（吉田委員長）

- ・生徒支援の充実の項目で、教員の自己評価が否定的な人のリサーチはできているのか、
なぜその評価なのかは調査しているのか。（森脇委員）
→教員間の議論を促すことができる会議をし、反映するよう努めたい。（校長）
→教員のアンケート記述欄で把握している、個別具体的なので割愛（首席）

3. 令和8年度 学校経営計画（案）について（校長）

- ・コース制の見直し→英語コースの希望者減少傾向のため。（校長）
- ・生徒アンケート交際交流に関する項目を新設した。（校長）
- ・教育相談：不登校の生徒は何人いるか？不登校は何日欠席から？（吉田委員長） →
→30日。各学年5名弱。（首席）
→教員の自己評価は低い理由は、不登校の生徒対応に関係している（吉田委員長）

4. 報告

学校教育自己診断の結果について

令和8年度3月卒業予定者の進路状況

5. 協議

令和6年度学校経営計画の評価に対するご意見

令和7年度学校教育計画へのご意見

学校教育自己診断の結果に対するご意見

交野高校に期待すること

- ・目安箱の活用の仕方。頭ごなしの厳しさか、生徒保護者が理解している厳しさなのか。生徒たちが作る校則をめざしてほしい。(吉田委員長)

- ・不登校は中学からなのか、高校からなのかを調べて、不登校をゼロにしてほしい。(吉田委員長)

- ・掃除に対する評価が増えてきている。教員が率先してする姿を見せてあげてほしい。(吉田委員長)

- ・生徒は楽しんで学校生活を楽しんでいる。授業評価の数値が以前より高くなっている。(中田副委員長)

→授業を大事にするように生徒に話している。(校長)

- ・令和10年度のコース選択制、英語専門コースは時代が変わればニーズが変わるので、柔軟に対応してもらえればよい。(中田副委員長)

- ・教員間の意見交流の機会をもつため、関わりの少ない教員もいると思うので、グループディスカッションしてみるとよい。(中田副委員長)

- ・いい方向に向かっている。交プロの講師から気になることがあった。高校生からの質問が少ない。発言に抵抗があるのかもしれないが、あまりにも質問が少ない。挨拶を徹底するように指導すべき。(森脇委員)

- ・生徒も教員もよくなっているのが数字に反映されているが、定員割れが心配(白川委員)

→今年度の1年生は交野高校を志望してきた生徒が多い。(校長)

→「厳しい校風がいい」と考えている保護者もいるかもしれない。しかし、依然として私学人気が高い。(白川委員)

6. その他

7. 所連絡